

## 平成17年度第2回支部連絡協議会会議 会議録

開催日時:平成17年11月12日 13:00～15:00

開催場所:北海道大学医学部保健学科 5-1講義室

出席者(敬称略)

森山(道南)、村岡(日胆)、鈴木(空知)、石田裕二(石狩)、辻(後志)、原田(札幌)、大堀(道北)

南川(網走)、広川(十勝代)、石田さえ子(根釧)

山田(支部連絡協議会担当理事)、加藤(道士会事務局財務部長)

---

### 議題1)支部連絡協議会および各支部 平成17年度中間報告

平成17年度支部連絡協議会中間報告書(別紙)に則り、支部連絡協議会および各支部より活動状況、中間決算の報告  
質疑:なし

### 議題2)支部連絡協議会および各支部 平成17年度活動報告・決算報告、平成18年度活動計画および予算案提出について

1月実施理事会に提出を要することから、12月中旬までに森山代表に提出  
計画案作成、予算執行の都合から時間的余裕を要する。(各支部)  
決算については2月末でも間に合う可能性がある。  
提出時期については確認の上、改めて森山代表を通じて各支部に周知する。

### 議題3)各支部、口座開設時の口座の取り扱いについて(加藤財務部長)

「北海道作業療法士会」を含む口座名義が10数口座存在し、新規開設または代表者名変更時などの手続きの際に登記簿提出を求められたり、再三の問い合わせを受けるなどの状況が複数の支部で発生している。

支部規約を提出しても容易には受け入れられない事例あり。

来年度に向けて、継続的に発生するならば、札幌で一括して口座開設が出来ないか検討中。2月末に判断したい。

### 議題4)各支部からの検討・報告事項

根釧支部からの提案

地域リハフォーラム、公開講座など各支部単位で行っている事業のうち、予算措置を含め、道士会事業部と共催で行える事業もあるのではないかと。研修会実施時の託児委託の年会費についても福利部予算に組み込めるのではないかと。

それらを支部予算に含めると支部予算が膨張するのではないかと。

\*事務局回答

計画立案、提出 予算付けが基本となる。

道士会事業として位置付けると理事会での検討が必要なため、承認までに一定の時間を要することもある。

毎年定例で行われる事業については、支部年度計画に盛り込んで欲しい。

突発的に発生した事業については、年度途中でも支部連絡協議会を通じて予算補正を検討が可能。

事業部予算に組み入れることは可能なのか。

**\* 事務局回答**

事故発生時の対応などを考慮すると、道士会事業部が打ち合わせ段階から参加していない中で冠をつけるのはいかなものか、という懸念もある。

長中期計画では、支部予算を拡大する方向で推移しており、むしろ実際に行っている支部に予算をつけたほうがよいのではないか。

各支部の活動において増加しているリハビリテーション推進会議関連事業についても支部予算内に枠付けをしてもよいのではないか。

**後志支部からの提案**

学会開催地については支部単位での選考が基本となっているが、後志支部に札幌支部の一部を加えるなど、柔軟な対応を考えられないか。

札幌周辺の支部は、支部独自の活動を展開しにくい環境下にある。支部割り自体が現状の区分でよいのか。(石狩支部)

\* 支部連絡協議会での検討の範疇を超えた問題である。理事会に報告する。

**道南支部から報告**

10月実施の市民健康まつりにおいて、事故が発生。OTについては保険対象外であった。

事業依頼があった際は事故が発生した際の対応についても確認したうえ、参加について検討すべきである。

**\* 理事補足**

道士会会員が加入している保険をベースに、オプション対応が可能。事務局に相談して欲しい。

**議題5)その他**

空知支部より

支部長委任状が支部長以外の会員に送付された

**次回支部連絡協議会会議**

平成18年度道士会総会時 (日時、場所未定)

以上